

設置・取扱い上のご注意

別売品・オプションシステムについて

- 各種別売品は、必ず当社指定の商品をご使用ください。また、取付けにおいても販売店または専門業者にご依頼ください。ご自分で工事をされ不備がありますと、性能不良の他、水漏れや漏電、倒壊、火災などの原因となります。また、取付けに際しては『据付説明書』を、ご使用に際しては『取扱説明書』を事前に良くお読みいただき、正しくお取扱いください。
- 別売品に関わらず、加湿器には上水道もしくはそれに準じた水質の水をご使用ください。尚、自然蒸発式加湿器では給水用の水にシリカを含んでいる場合、白い粉が吹出すことがありますので、水処理業者などにご相談のうえ、軽減対策をご検討ください。
- D-BACSシステムの各機種の導入には、弊社との事前の打合せが必要です。ご計画の際に弊社担当営業までお問合せください。
- Ve-upコントローラーやマスターステーションⅢのデータによる料金計算は計量法によるものではありませんので、公的取り引きには使用できませんのでご注意ください。
- Ve-upコントローラーには氷蓄熱タイプや冷暖フリータイプは、他のタイプと同一ラインで接続することができません。
- D-BACSシステムの空調管理システムとビル設備管理システムは同一のラインに接続することができませんのでご注意ください。
- スケジュールタイマーとD-BIPSの併用はできません。
- フィルターは必ずダイキン純正品をご使用ください。他社製を取付けた場合、充分な性能が発揮できなかったり、運転音が大きくなる場合があります。
- 空気清浄ユニットや脱臭ユニットはダイキン純正品をご使用ください。他社製品の場合、エレメント部から発生するアークノイズで、空調機が誤動作する可能性があります。また、空調機とは発停以外の通信が行えませんので、機器に異常が発生してもリモコンには表示されません。
- 空気清浄ユニットや脱臭ユニットは空調機の風量により処理能力が決定されますので、必ずしも設置された空間に適した清浄能力が発揮できるとは限りません。充分な空気清浄を行う場合は、不足分に適した空気清浄機クリエールや脱臭機エステゾン、光脱臭機能付全熱交換器ユニット「光ベンティエール」の併設をおすすめします。
- 別売品には機器の設置に必要な必須別売品が存在する場合がありますのでご注意ください。
- 別売品は、その組合せやエアコン本体の設置条件により採用や併用ができないものがありますので、ご検討の際にご確認ください。
- 別売品によっては、エアコン本体の外形や外観、質量、運転音、その他能力特性が変化する場合がありますので、ご注意ください。
- 別売品やオプションシステムにはダイキン工業(株)扱いの商品と、オーケー器材(株)扱いの商品がありますので、ご確認ください。尚、現地調達品についても多数取り揃えておりますのでオーケー器材(株)にお問合せください。

耐塩害仕様について

- 耐塩害または耐重塩害仕様の機種を採用しても、腐食に対して万全とは言えません。機器の設置や日常のメンテナンスにおいては『据付説明書』『取扱説明書』に示す諸注意を遵守してください。
- 耐塩害、耐重塩害仕様機種の設置、メンテナンス時の留意事項を掲載しておりますので、必ずお読みください。

受注生産品について

- 受注生産品は、標準品と外形や質量、能力等が多少異なる場合がありますので、ご検討の際に弊社担当営業までお問合せください。
- 受注生産品は、ご発注より納品まで標準品より若干の日数を要しますので、ご検討、ご発注の際に納期をご確認ください。

冷媒漏洩について

- 本エアコンに使用しています冷媒R410A（HFC410A）は、それ自身は無毒・不燃性ですが、万一、建物内に漏れた場合、その許容量を越えるような小部屋では、換気装置などによる冷媒漏洩への対策が必要となります。

ベンティエール・換気機器について

- ベンティエールにおける空調連動機とはビル用マルチなどの当社空調機と通信でつながり、互いの運転データーの交換によって同時運転と自動換気モード切換を行うタイプを指します。この中には、専用リモコンを持たない空調連動専用機と、専用リモコンで単独でも設置・運転できる空調連動/単独設置兼用機の2種類があります。この他、空調機と同時発停のみ行える同時運転タイプ（専用リモコンでの単独設置・運転も可）や専用リモコンを持ち単独の設置・運転を目的とした単独設置機(空調機との同時発停も可)もあります。尚、空調連動機には新伝送のDⅢ-NET方式に対応したものと、旧伝送の多重伝送方式に対応したものがあります。それぞれに対応する空調機や集中管理機器、専用リモコンが異なり、機能も多少異なりますので、機種選定や制御システムの計画の際には事前にご相談ください。
- 換気機器は特に強い外風が当ると、運転停止時でも外気が侵入（逆流）する場合があります。
- ベンティエール本体の運転音に比べ、給排気グリルの吹出し音は8～11dBも高くなる場合があります。静かな場所に設置する場合はSA（室内空気）の本機出口側に別売品のフレキシブルダクトを使用されることをおすすめします。特に、500m³/hを超える機種ではその対策をご考慮ください。尚、「防衛施設周辺防音事業用」に適した機種もご用意しておりますので弊社担当営業までお問合わせください。
- ベンティエールは基本的に外気温度が－15℃以上となる地域に適しています。(加湿内蔵型は－10℃以上)。こうした本体を指定の設置条件範囲内で設置した上で、屋外側のダクト(外気吸込および排気吹出ダクト)には、結露防止のための断熱処理を必ず行ってください。また、屋内側のダクトも結露の恐れが考えられる場合は断熱処理を行ってください。
- ベンティエールの加湿器は必ず室内給気側に取付けてください。また加湿機能付機種および別売品の加湿器の給水には、市水または上水、もしくはそれに近い水質のものを使用し、給水管系には必ずサービス弁を設けてください。尚、公共の水道管には直接接続することはできません。必ず間にシースタンクを設けてください。
- ベンティエールの加湿機能付機種および別売品の加湿器を冷暖フリービル用マルチVe-upⅢRの冷専系統に接続した室内ユニットに連動させても加湿運転は行いません。
- CO_2センサーを搭載したベンティエールは、センサーの感度を妨げる様な場所に設置しないでください。また、計測法に基づく計測器ではありませんので、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となる有害ガスや不燃ガス等を検知したり、防止する安全装置としては使用しないでください。
- 湿気の多い場所に設置する場合は、必ずアース工事を行ってくださ